

神奈川大学産業連携事業

「本の架け橋プロジェクト」

人間科学部教授 松本安生 様

ありがとうございました



おもちゃで遊んだ後「ありがとう Muchas Gracias!」と手を振る幼稚園児たち
☆御礼とご報告☆

神奈川大学人間科学部教授 松本安生様、初めまして。2015年3月からシニア海外ボランティアとして、中米エルサルバドルで活動中の [REDACTED] と申します。この度は、たくさんの絵本をご寄贈下さいまして誠にありがとうございました。

私の活動先は、同国東部に位置するサンミゲル県サンミゲル市のサンミゲル特別学校で、障がいのある子ども達に体育やスポーツを教えています。

さて、贈っていただいたおもちゃは、4月4日月曜日の全校集会で、無事幼稚園児達に手渡すことができました。彼らの喜びの様子や、エルサルバドルの様子などをまとめましたので、ご覧になっていただければ幸いです。

シニア海外ボランティア 26年度4次隊

障害児・者支援（左端が [REDACTED] 同僚と）



子どもたちは絵本が大好きでとても喜んでいました。ありがとうございました。



15 calle Poniente y Av. Los Ángeles, Urb. Los Pinos, Frente a Emergencia del ISSS. San Miguel.
Teléfono: 2661-7318, eeedesanmiguel@hotmail.com, www.facebook.com/eedesanmiguel

San Miguel, 14 de Abril de 2016

Kanagawa Universidad
Ciencias Humanidades
Catedrático Sr. Yasuo Matumoto
Presente

Reciban por medio de la presente un afectuoso saludo de los alumna@s, Padres de Familia y Maestras de la escuela de Educación Especial de San Miguel y nuestros mejores deseos de éxito en sus labores.

El motivo de la presente es para Agradecer a usted la donación de:

✓ Libro Ilustrado

Que serán de gran ayuda para el aprendizaje y desarrollo de los niño@s.

Dios bendiga su generoso corazón.

Atentamente



2016年4月14日

サンミゲル

神奈川大学 産業連携事業「本の架け橋プロジェクト」
人間科学部教授 松本 安生 様

この度は、サンミゲル特別学校の子ども達のために、愛情のこもったプレゼントをたくさん贈っていただきありがとうございました。

私たち教員、保護者、そして子ども達は、学校生活がよりよくなることを望んでいます。神奈川大学産業連携事業「本の架け橋プロジェクト」様が贈って下さった絵本は、子ども達の学習や成長に役立て行きたいと考えています。

あなたの寛大な御心に感謝いたします。

敬具

校長

(日本語訳 シニア海外ボランティア)



15 calle Poniente y Av. Los Ángeles, Urb. Los Pinos, Frente a Emergencia del ISSS. San Miguel.
Teléfono: 2661-7318, eeedesanmiguel@hotmail.com, www.facebook.com/eeedesanmiguel

San Miguel, 14 de abril de 2016

Sr. Yasuo Matumoto

Catedrático

Kanagawa Universidad Ciencias Humanas

Presente

Por este medio los alumnos, las alumnas y maestras del nivel de Parvularia de la Escuela de Educación Especial de San Miguel le envían un saludo fraterno deseando éxitos en sus labores.

A la vez nos dirigimos a usted con el fin de expresar nuestro más sincero agradecimiento por su valioso donativo de:

✓ Libro ilustrado

Aporte que será de gran beneficio para fortalecer las áreas de desarrollo de los niños y niñas.

Nos sentimos profundamente agradecidos y deseamos que Dios le bendiga por su gran generosidad y apoyo a causas nobles.

Atentamente



[Redacted signature area]

[Redacted signature area]

☆エルサルバドルってどんな国？☆



日本⇄エルサルバドル
距離:12,525 km
所要時間:20時間超
(直行便は無いのでアメリカで乗継)
時差:15時間



中米で最も国土の狭いエルサルバドル共和国、その面積は九州の約半分で、中米で唯一大西洋（カルブ海）に面していない国です。国名の“エルサルバドル”はスペイン語で“救世主”を意味し、人口は2014年時点で約611万人ですが、この他に米国在住エルサルバドル人が250万人以上いると言われており、その仕送りに頼って生活する家族も数多く在住します。元はピピル族を中心とした原住民たちの住む土地でしたが、16世紀初頭よりスペインによる植民が進んだことから、現在では人口の約85%がメスティーソと呼ばれる混血で占められています。その国民性は「中米の日本」と評されることもある程“勤勉で忍耐強い”とされており、これは、度々地震、噴火、台風などの自然災害に見舞われる厳しい環境を生き抜いてきたこと、また、1992年まで約12年続いた内戦を耐え忍んできたこと、などに由来するとも言われています。公用語はスペイン語、国民の大半がキリスト教徒です。主要産業は、コーヒー、綿花、砂糖（きび）の栽培で、以前は中米一の工業国として知られ、日本企業との合併会社が設立されるなどしましたが、長引いた内戦の間に没落してしまいました。ネガティブな情報としては、やはり治安の悪さが挙げられ、その中心が「マラス」と呼ばれる青少年凶悪犯罪集団です。彼らのグループ間抗争や、警察・軍との交戦を中心に、マラスの絡んだ殺人事案が多発。2014年のデータによると人口10万人当たり62、2件の殺人が発生しており世界ワースト2位、その後1.5倍のペースで殺人が発生し、遂には2015年104、2件で世界ワースト1位になってしまいました。しかし、家族や親戚、友人との交際を日本人以上に重視する彼らが、互いに支え合い、この厳しい環境の中でもしっかりと生活を楽しんでいる点は、私たちが見習うべき点だと感じます



中米を縦断するパンアメリカン道路（サンミゲル市内通称ルーズベルト通り）

←サンサルバドルへ



ラ、ウニオンへ→



治安の関係上高い塀で囲まれた家



しっかり門扉が閉じられている



4 mの塀の上には針金のコイル



外からの侵入を防ぐため樹木は低い

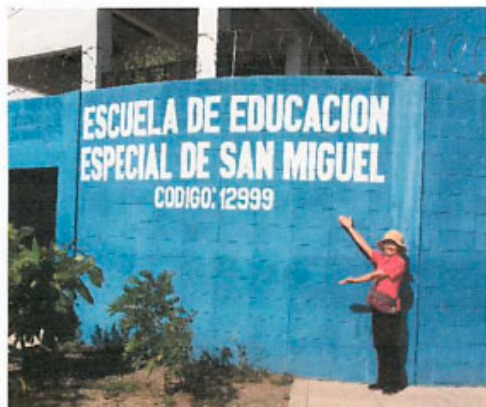


ある日の朝食コーヒー、パン、焼きバナナ
フリフォーレス（煮豆のペースト） チーズ



ある日の昼食、ご飯（煮豆の色で黒い）
鶏肉野菜ソテー、生野菜、オレンジジュース

☆サンミゲル特別学校について☆



(全ての学校が国旗と同じ青と白で統一されています。)

エルサルバドルの東部に位置する東部の中心サンミゲル県サンミゲル市、国内3番目に大きな町です。首都サンミゲル市内を南北に縦断するパンアメリカン道路、この道路はアメリカから中米全土をつなげています。そのすぐそばにあるのが、サンミゲル特別学校です。

4歳から25歳までの障がいのある幼稚園児から小学生、中学生、高校生、職業訓練の生徒達198名が学んでいます。午前と午後の2部制で、午前の部は7時15分から11時45分まで、午後の部は1時15分から5時15分まで授業があります。

安全上、生徒たちは、毎日保護者またはマイクロバスやタクシーでの送迎で登校してきます。東部で一番大きい特別学校で、遠距離の生徒は1時間以上時間をかけて登校してきます。1クラスの人数は12人から14人と日本より人数が多く（日本は6～8名）、教員の数は少なく、1校時から5校時までずっと担任が指導しています。週2時間体育の授業があり、その時間は、体育指導専門の教師（ ）の同僚と が授業をします。その時間だけが担任の空き時間となりますが、担任は安全を確保するため、一緒に活動するか、近くで見守ることになっています。（学年が上のクラスは、コーヒー飲みながらの先生もいます。）

通常の体育の授業の他に、陸上競技と水泳、ボッチャ（カーリングに似た競技、パラリンピックの正式種目になっている）のスポーツを選択している生徒たちは、体育の授業の他にこれらの授業を受けます。校内に、体育館や運動場はなく、通常は、広場で体育の授業をし、陸上競技は、歩いて5分の所にある、市の陸上競技場（サッカー場）で練習します。プールは、サンサルバドル軍第3部隊のプールを借りて練習しています。

各種競技大会へも積極的に参加しており、昨年度は、国の代表として7月にロサンゼルスで行われたスペシャルオリンピックスの陸上競技に2名が参加、12月にはコスタリカで行われた中米の大会にやはり陸上競技で3名が参加しました。

その他にも、たくさんの行事が企画され、生徒たちは、精一杯持てる力を発揮し、自立と社会参加を目指しています。保護者の方々も協力的で、いろいろな行事への参加を快く受け入れしっかり応援してくれています。

☆授業や大会・行事の様子☆



コーン目がけてディスクを投げるよ。
この後1人で投げられた！



ボッチャ競技は INDES の
空手道場が会場



歩けなくても泳げるよ。
大会参加目標！



エルサルバドル代表してロサンジェルスへ！
(銀メダル獲得！)



9月15日独立記念日にバンド演奏
おそろいのユニフォーム



大学のインクルーシブ研究会で民族舞踊披露
(白の民族衣装は自前です。)

本校に在籍している、知的障害、ダウン症候群、自閉症、肢体不自由、弱視、全盲、難聴など、障がいのある子ども達も学校や家庭でできることも増えてきますが、当初、幼稚園に入園したばかりのころは、泣いてばかりいるお子さんも少なくありません。ベテランの先生方が、それぞれのお子さんに応じた声掛けや支援を心掛けていますが、保護者と離れた心細さや、大勢の中での活動に慣れるまでは相当時間がかかります。そんな中でも、好きな絵本や、おもちゃがあれば、少しでも落ち着いて時間を過ごすことができるようになります。一緒に作ったり、遊んだり、貸し借りしたり、おもちゃを通して学ぶこともたくさんあります。しかし、おもちゃや絵本などは繰り返し使う中で、破れたり、壊れたり、部品がなくなったり、学校の少ない予算の中では、なかなか補充できない状況にありました。

☆おもちゃの贈呈☆

4月4日の全校集会で全校生に披露し、幼稚園児一人一人に手渡すことができました。



赤いリボンで飾り付けしたおもちゃ



一人一人に手渡しました。



「何かな？」ととても楽しみにしています。



いつも泣いてばかりの4歳の男の子も
しっかりおもちゃ見えています。

校長先生と一緒に！



記念撮影。ちょっと緊張してるかな？



さっそく開けてみました。



カーキャリアセットが気に入ったよ！



仲良く積木を並べる女の子たち



積木遊びしながら絵本見えます！



先生、読んで！読んで！



ブロック大好き！



やっぱり積木だね！



見本の写真見ながらパーツ探してます。



一人遊び好きだけど、ブロックならみんなと遊べるね。



アンパンマンマップでミニカー走らせたよ！

あいかさぎ。

サンケル特別学校幼稚園児刊

graciers